



Your dreams. Woven together.

2011年6月期 第1四半期 決算説明

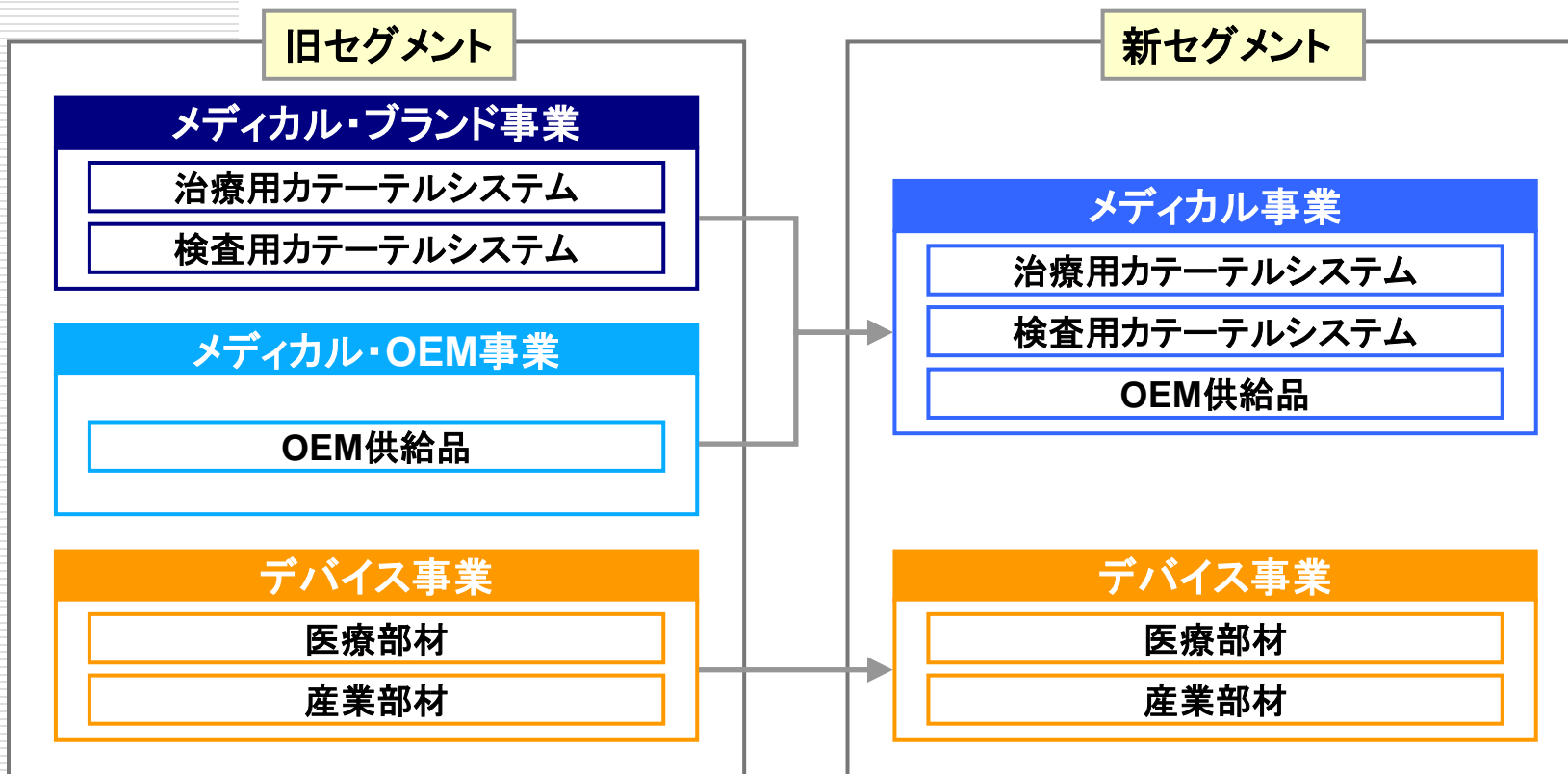
2010年11月11日

(証券コード:7747 東証二部、名証二部、ジャスダック)



事業 セグメントの変更について-1

- 組織形態の変更等に伴い、2011年6月期より下記のセグメント区分に変更致しております。



- 以下資料上における留意事項
 - セグメント別の前年同期比較にあたっては、前期数値を変更後の区分に組み替え表記しております。

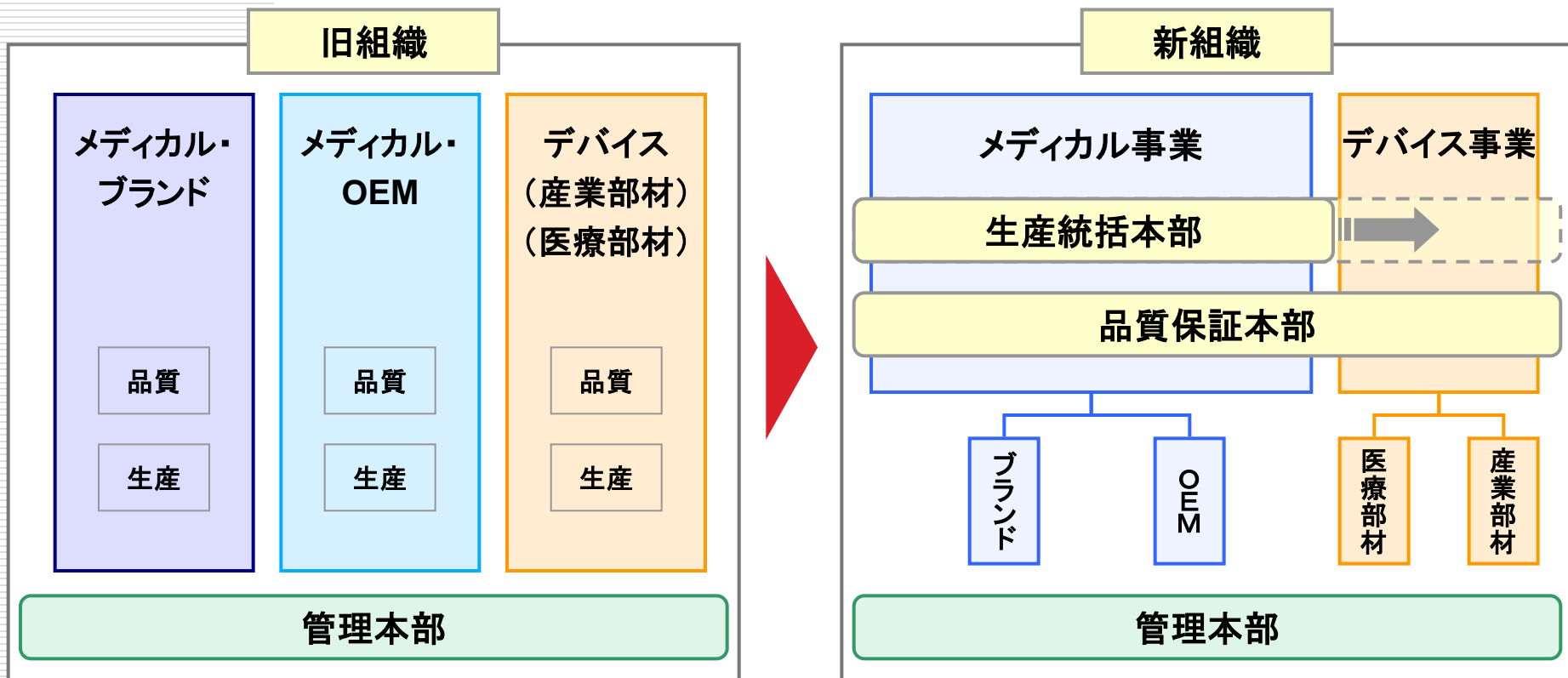


事業 セグメントの変更について-2

(要因: マトリックス組織形態への移行)

■ 組織変更の内容と目的

- 横断的組織として、「生産統括本部」及び「品質保証本部」を設立
- マトリックス組織への移行をはかることにより、開発・生産・品質・販売の役割を明確化し、製品開発のスピードの向上、生産性の向上を目指す





2011年6月期第1四半期決算のポイント(連結)

■ 売上高は4,078百万円(前年同期比+6.7%)と堅調に推移

□ 増収分野: 医療機器分野 減収分野: 産業機器分野

- ▶ 医療機器分野は主に自社ブランド製品が国内・海外共に好調に推移し増収
- ▶ 数量の増加により、円高ドル安の為替影響(△137百万円)や、医療償還価格下落に伴う国内売価下落によるマイナス影響(△153百万円)をカバー

■ 円高ドル安影響・償還価格下落などの逆風あるも営業利益は増収を確保

□ 営業利益は1,014百万円(前年同期比 +6.8%)

- ▶ 主要原材料であるステンレスやプラチナなどの価格上昇に伴う原材料費の増加
- ▶ 研究開発費用(403百万円)の増加(前期比費用増加+128百万円、売上高比率9.9%)
- ▶ 朝日インテック・ジーマ連結子会社化(2010年1月～)により販売費及び一般管理費が増加(前期比費用増加+49百万円)
- ▶ 円高為替についてタイパーツに比べてドルの動きが強く営業利益にマイナス影響あり(前期比営業利益△121百万円)
- ▶ (参考: 組織変更に伴う売上原価から販管費への費用区分変更による前期影響額は約150百万円)

□ 経常利益は962百万円(前年同期比+10.9%)

- ▶ 営業外費用に円高の影響による為替差損74百万円を計上(前期比△16百万円)

□ 四半期純利益は650百万円(前年同期比+20.3%)

- ▶ 特別損失: 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 30百万円を計上
- ▶ 前期は特別損失に前期損益修正損(在庫関係)76百万円を計上



決算ハイライト(連結)

	前期 1Q		前期 通期		2011年6月期 1Q			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	3,822	100.0	15,339	100.0	4,078	100.0	+256	+6.7
売上総利益	2,194	57.4	8,676	56.6	2,684	65.8	+490	+22.4
営業利益	950	24.9	2,929	19.1	1,014	24.9	+64	+6.8
経常利益	868	22.7	2,785	18.2	962	23.6	+94	+10.9
(四半期) 純利益	540	14.1	1,497	9.8	650	15.9	+109	+20.3
E P S	-	-	94.49円	-	-	-	-	-

* 当期から、組織変更に伴い、売上原価から販管費への費用区分変更を行なっております。その前期1Qに与える影響は約150百万円となります。当初、通期にて約800百万円の影響を見込んでおりましたが、監査上の問題により、その影響額は700百万円となる予定です。



セグメント別売上高

	前期 1Q		前期 通期		2011年6月期 1Q			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル事業	3,124	81.7	12,303	80.2	3,229	79.2	+105	+3.4
デバイス事業	698	18.3	3,035	19.8	849	20.8	+151	+21.6
合計	3,822	100.0	15,339	100.0	4,078	100.0	+256	+6.7

(参考)

医療機器分野	3,349	87.6	13,442	87.6	3,643	89.3	+294	+8.8
産業機器分野	472	12.4	1,896	12.4	434	10.7	△37	△8.0



セグメント別営業利益

	前期 1Q		前期 通期		2011年6月期 1Q			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル事業	1,113	87.9	3,792	85.2	989	74.8	△124	△11.2
デバイス事業	153	12.1	659	14.8	333	25.2	+179	+116.9
計	1,267	100.0	4,451	100.0	1,322	100.0	+55	+4.3
消去・全社	△316	-	△1,522	-	△307	-	+9	+2.9
合計	950	-	2,929	-	1,014	-	+64	+6.8



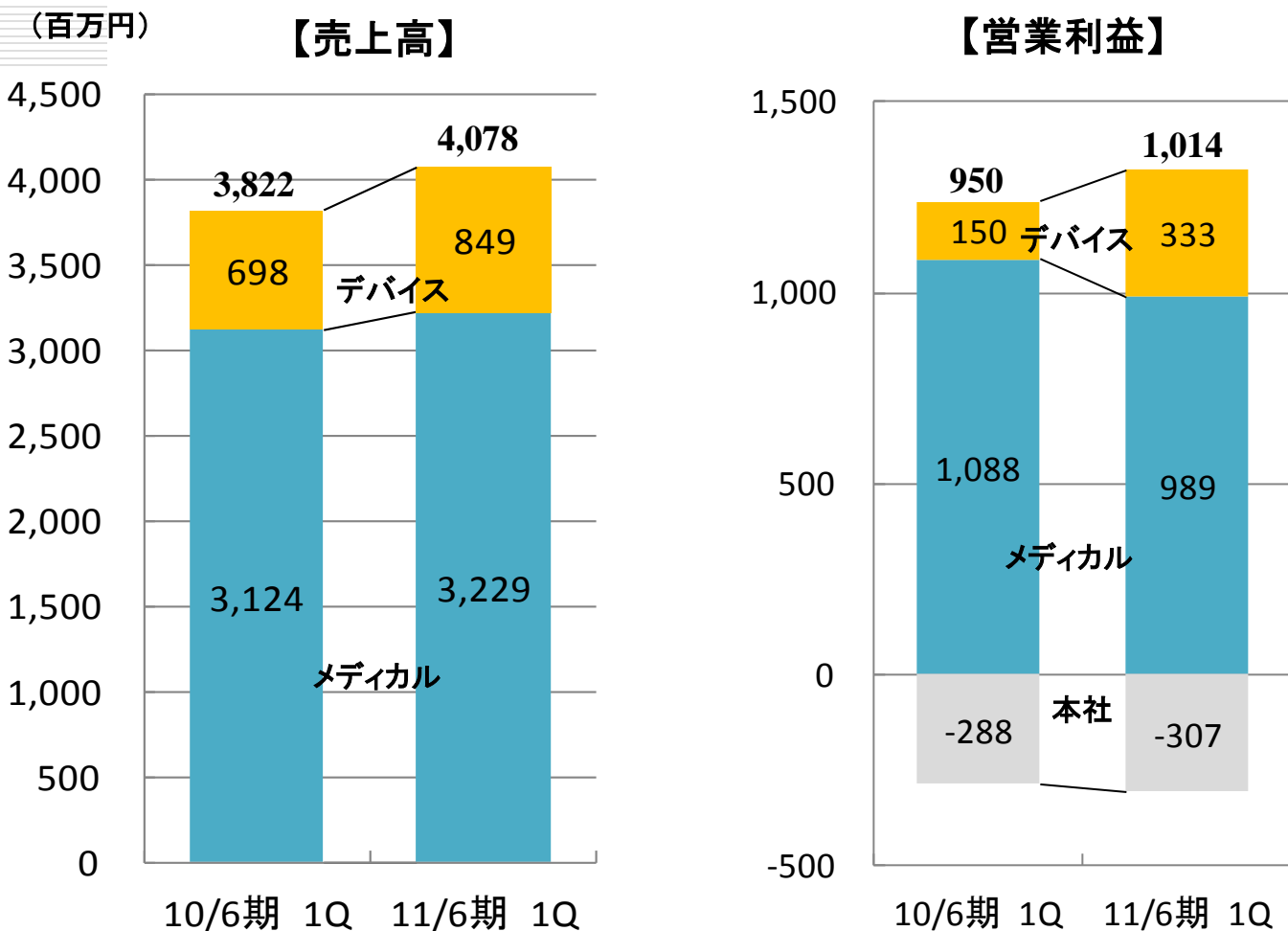
セグメント別営業利益(一部調整後)

	前期 1Q		前期 通期		2011年6月期 1Q			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル事業	1,088	87.8	3,692	85.1	989	74.8	△98	△9.1
デバイス事業	150	12.2	647	14.9	333	25.2	+182	+121.0
計	1,239	100.0	4,339	100.0	1,322	100.0	+83	+6.7
消去・全社	△288	-	△1,410	-	△307	-	△19	△6.7
合計	950	-	2,929	-	1,014	-	+64	+6.8

*: 全社的な研究開発を行なう基盤技術グループの費用について、10/6期までは全社セグメントに計上されておりましたが、11/6期より各セグメント区分に変更しており、よって前期1Q及び通期の実績について11/6期基準に変更して表記しております。上記では、前年度数値について調整後の営業利益を表記しておりますので、ご留意下さい。



セグメント別の収益状況(調整後)



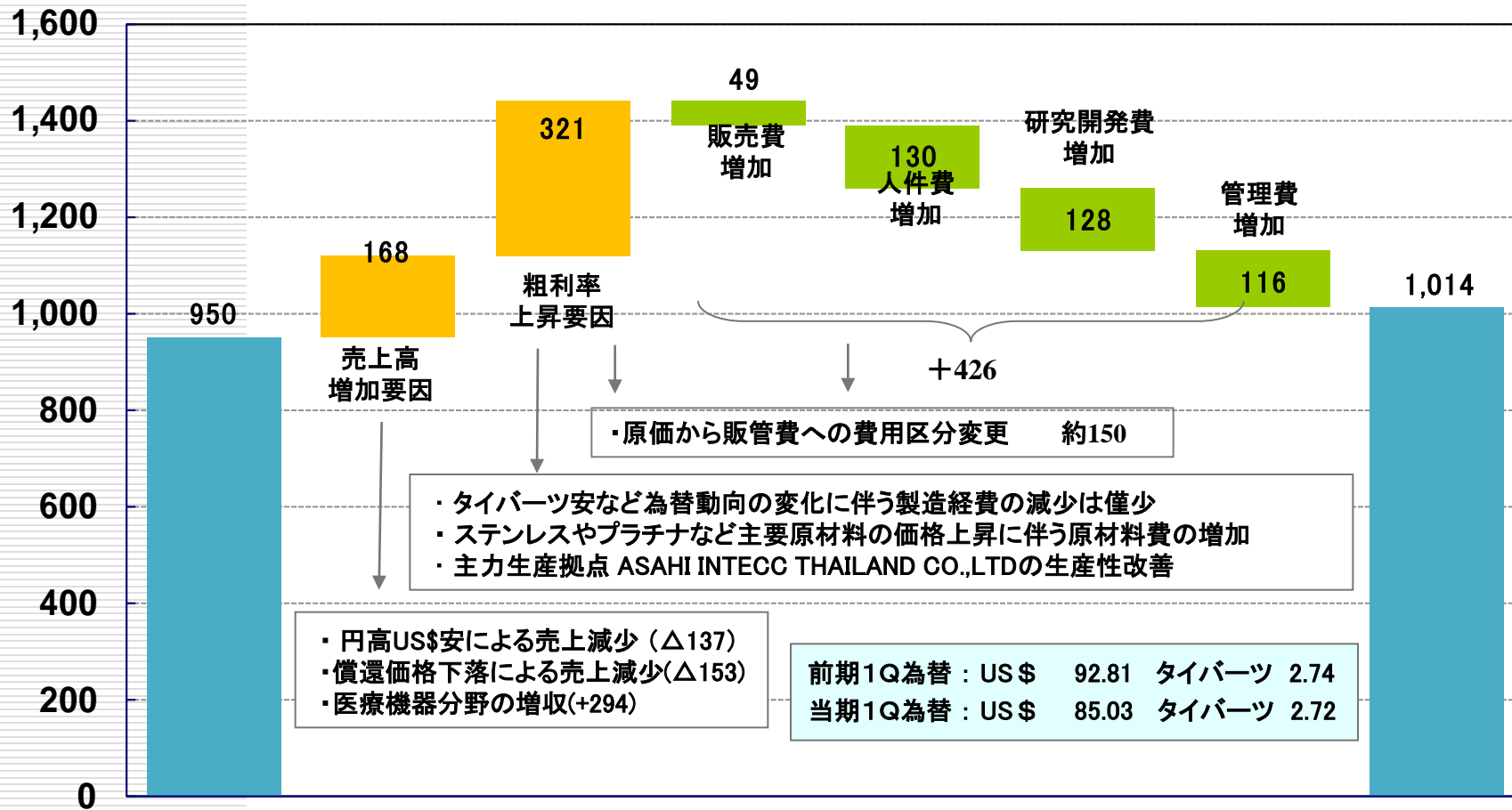
* 調整後

*: 全社的な研究開発を行なう基盤技術グループの費用について、10/6期までは全社セグメントに計上されておりましたが、11/6期より各セグメント区分に変更しており、よって10/6期実績について11/6期基準に変更して表記しております。



営業利益増減要因分析-1 (為替の影響を含む)

(百万円)



・原価から販管費への費用区分変更 約150

・タイパーツ安など為替動向の変化に伴う製造経費の減少は僅少
 ・ステンレスやプラチナなど主要原材料の価格上昇に伴う原材料費の増加
 ・主力生産拠点 ASAHI INTECC THAILAND CO.,LTDの生産性改善

・円高US\$安による売上減少 (△137)
 ・償還価格下落による売上減少(△153)
 ・医療機器分野の増収(+294)

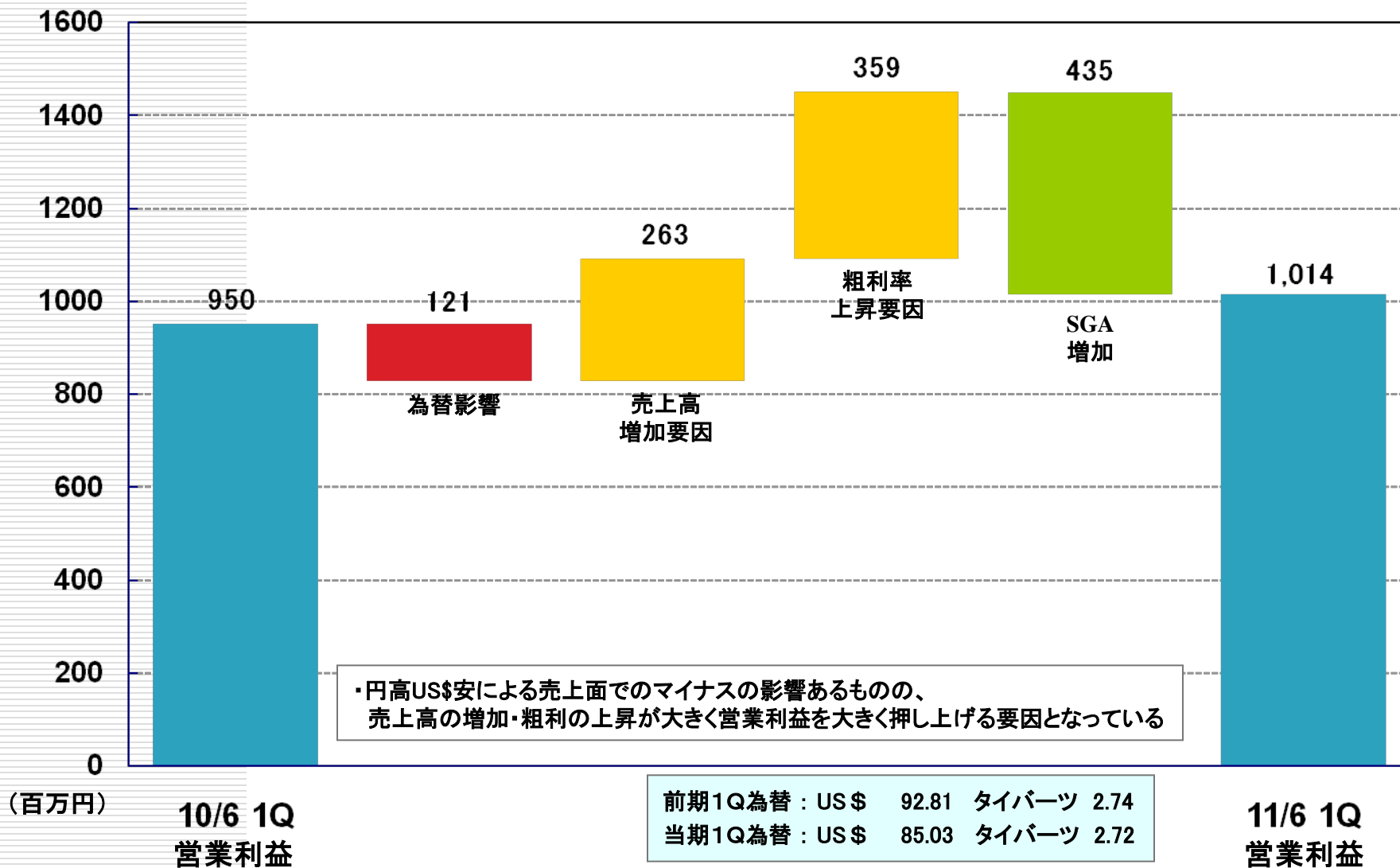
前期1Q為替	US\$ 92.81	タイパーツ 2.74
当期1Q為替	US\$ 85.03	タイパーツ 2.72

10/6 1Q
営業利益

11/6 1Q
営業利益

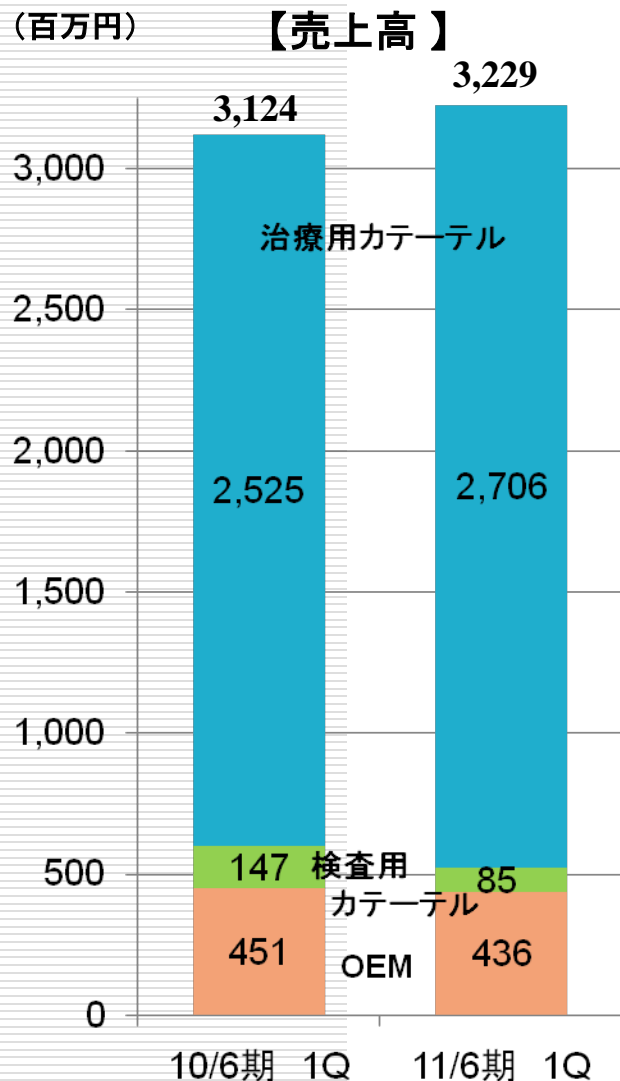


営業利益増減要因分析-2(為替の影響を除く)





メディカル事業の状況



■ 国内・海外共に順調に推移

- 売上高3,229百万円(前年同期比+105百万円、同+3.4%)
- 営業利益989百万円(調整後前年同期比△98百万円、同△9.1%)
- 償還価格下落の影響(△153百万円)
及び円高ドル安の影響を受けるも好調に推移

■ 治療用カテーテル製品

- 2,706百万円(前年同期比+181百万円、同+7.2%)
- PTCAガイドワイヤーは国内増加・海外減少
- 国内:循環器系を中心に幅広い患部領域の製品が好調
 - ▶ 償還価格のマイナス影響を払拭し売上好調
 - ▶ 貫通カテーテルCorsairは前下半期から販売開始により好調に推移
 - ▶ 腹部血管系・末梢血管系・脳血管系など循環器系以外の領域好調に推移
- 海外:円高ドル安の影響を受けて若干減少
 - ▶ 中国向けは為替影響を払拭し売上好調

■ 検査用カテーテル製品

- 85百万円(前年同期比△61百万円、同△41.8%)
- 海外向け検査用カテーテルは方針により縮小傾向

■ OEM供給品

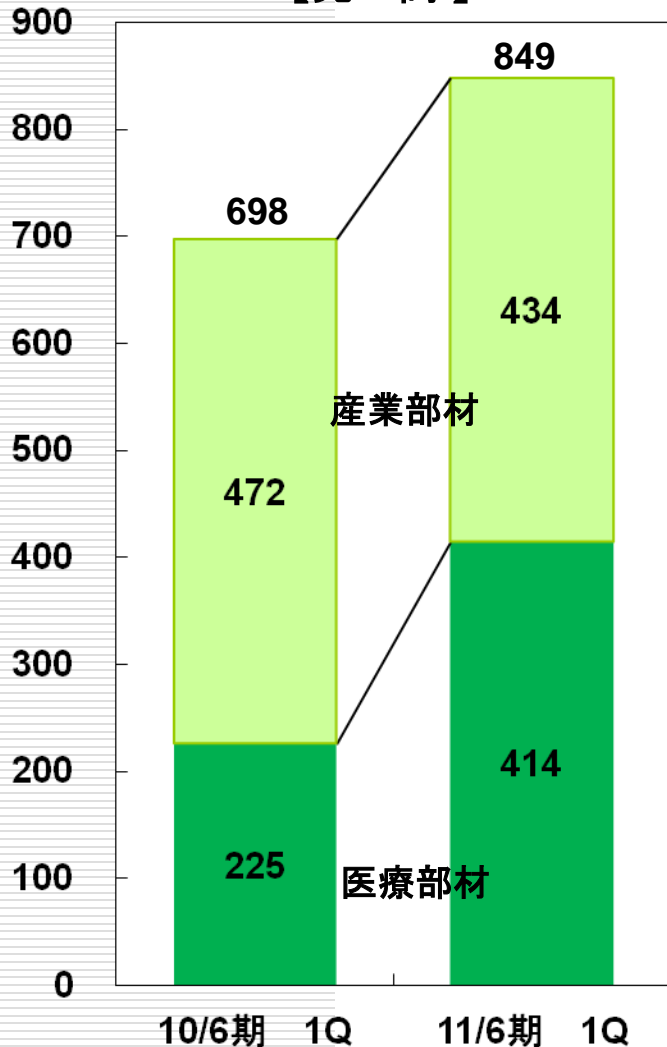
- 436百万円(前年同期比△14百万円、同△3.2%)
- 国内:内視鏡関連製品が増加するものの脳血管系製品が減少



デバイス事業の状況

(百万円)

【売上高】



- 医療機器分野を中心に増加傾向
- 産業機器分野は高付加価値製品へのシフト、販売価格見直しに注力
 - 売上高849百万円(前年同期比+151百万円、同+21.6%)
 - 営業利益333百万円(調整後同+182百万円、同+121.0%)

- 産業部材
 - 434百万円(前年同期比△37百万円、同△8.0%)
 - 取引見直しの影響を受け駆け込み受注が増加
 - 海外向の取引増加:自動車関係・エアコン関係等
 - 国内向け取引減少:釣り糸などレジャー関係

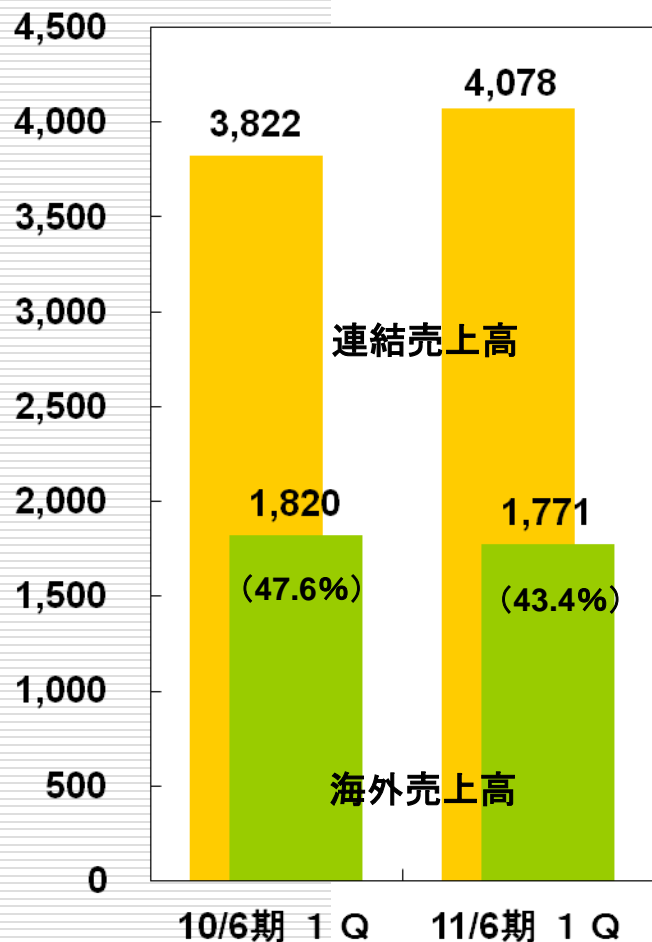
- 医療部材
 - 414百万円(前年同期比+188百万円、同+83.8%)
 - 10/1月ジーマ社の連結子会社化による増加 +174百万円
 - 米国向け耳鼻咽喉科関係の医療部材取引が順調に推移
 - 内視鏡関連部品のコストダウン要請により取引金額減少



海外売上高の状況

(百万円)

【海外売上高の推移】

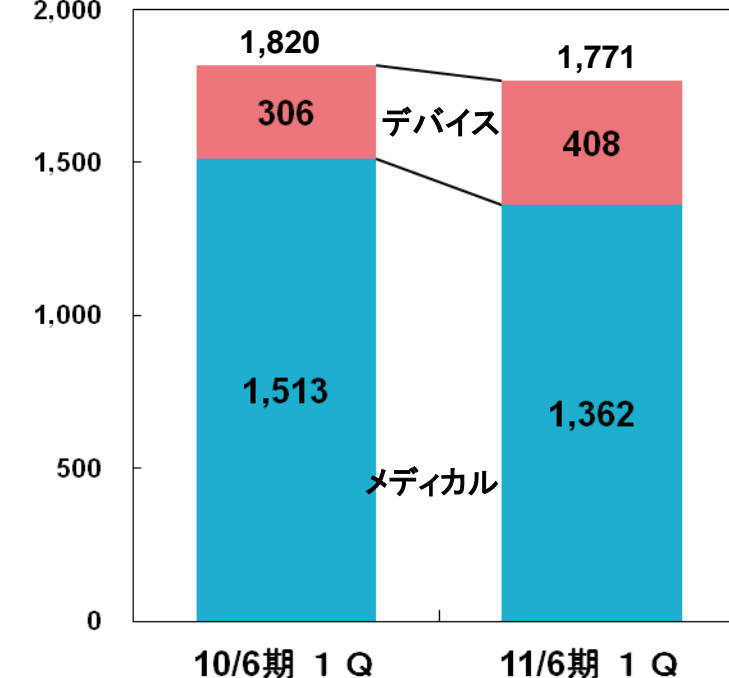


□ 海外売上高は△49百万円(前年同期比△2.7%)

- ▶ 円高ドル安による売上高減少の影響 △137百万円
- ▶ 為替影響を除いては順調に推移
- ▶ メディカル事業では特にアジア向けが好調に推移

【セグメント別海外売上高】

(百万円)





損益の状況(連結)

	2010年6月期 1Q実績		2011年6月期 1Q実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	3,822	100.0	4,078	100.0	+256	医療機器分野の増収
売上原価	1,628	42.6	1,394	34.2	△234	一部販管費への移動あり 約△150
売上総利益	2,194	57.4	2,684	65.8	+490	稼働率上昇に伴う生産性向上
販管費	1,243	32.5	1,669	40.9	+426	研究開発費用の増加 +128 売上原価からの移動 約+150
営業利益	950	24.9	1,014	24.9	+64	
営業外収益	31	0.8	39	1.0	+8	
営業外費用	113	3.0	91	2.3	△21	円高影響による為替差損 △16
経常利益	868	22.7	962	23.6	+94	
特別利益	30	0.8	0	0.0	△30	貸倒引当金戻入金 △30
特別損失	91	2.4	36	0.9	△55	投資有価証券評価損 △15 前期損益修正損失 △76 資産除去債務会計適用 +30
四半期純利益	540	14.1	650	15.9	+109	

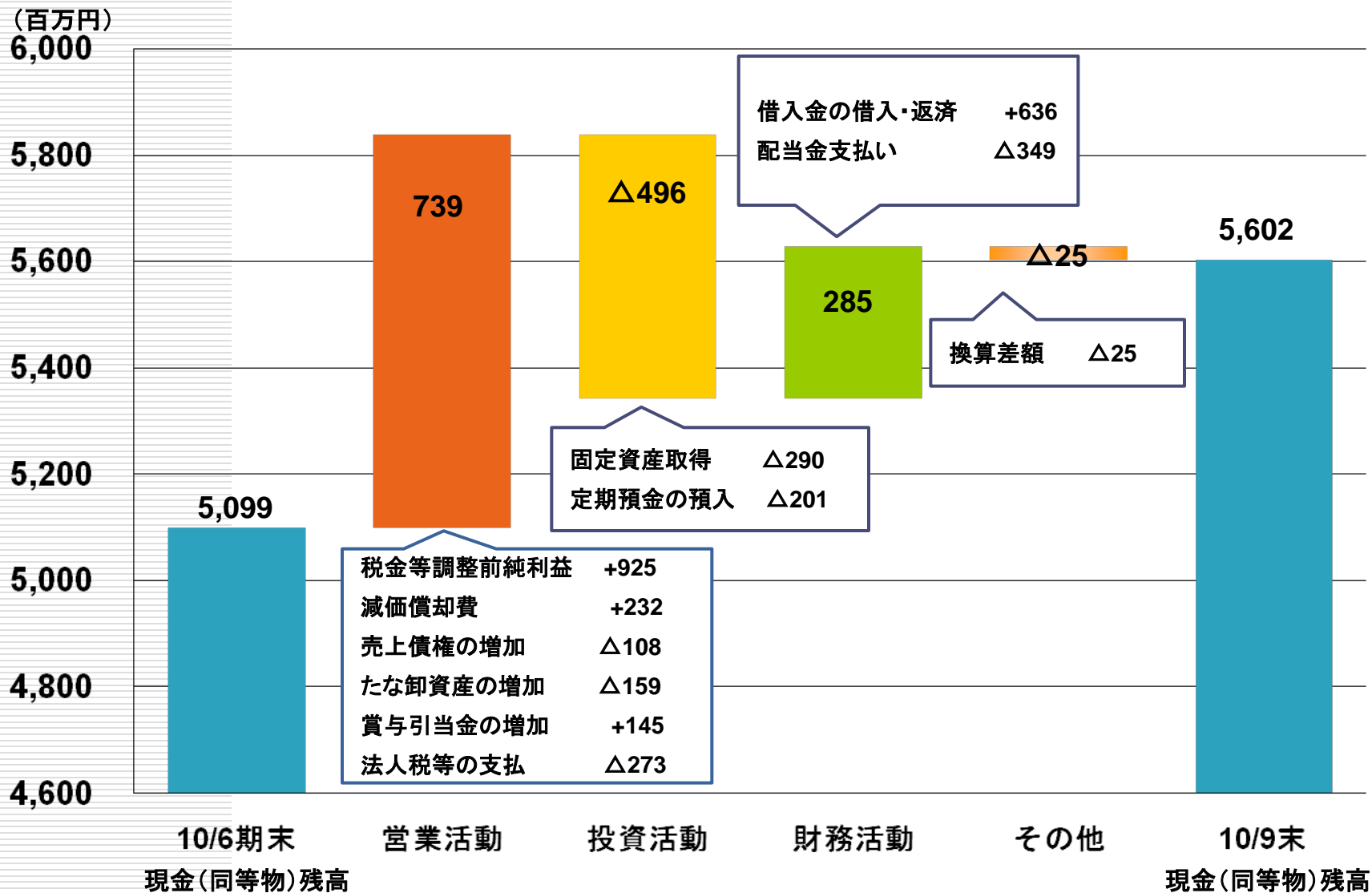


財務の状況(連結)

	2010年6月期 実績		2011年6月期 1Q 実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	12,253	55.7	13,260	57.8	+1,007	現預金の増加 +708 売上債権の増加 +79 たな卸資産の増加 +166
固定資産	9,757	44.3	9,684	42.2	△73	有形固定資産の減少 △24 投資有価証券の減少 △26
資産合計	22,011	100.0	22,945	100.0	+933	
流動負債	5,245	23.8	5,471	23.8	+225	支払債務の増加 +93 短期借入金の増加 +235
固定負債	3,511	16.0	3,964	17.3	+452	長期借入金の増加 +350
負債合計	8,757	39.8	9,436	41.1	+678	
純資産合計	13,253	60.2	13,509	58.9	+255	利益剰余金の増加 +253
負債・純資産合計	22,011	100.0	22,945	100.0	+933	



連結キャッシュ・フローの状況





本資料における注記事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。
実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

朝日インテック株式会社 経営戦略室

TEL 052-768-1218 (Direct)

URL <http://www.asahi-intecc.co.jp/>